VRトークについて

やったことの概略 やってみての所感



反省点

不安になって喋りすぎた

不安になった理由は後ほど。

予定より長くなった

とはいえ

もくもく会は練習の場でもあります。

ここで失敗しておきましょう。

聴いてる方も承知してます (多分)。

使ったアプリ

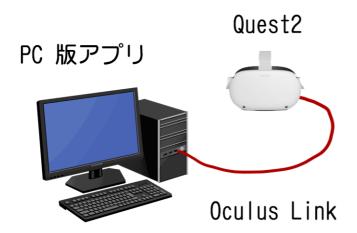
Virtual Presentation Space

- VR でプレゼンして録画できる。
- PC 版と Quest 版がある。



Quest2 + Link で PC 版を使える

• PC にミラーリングできる。



スライド (PDF) を用意する

Virtual Presentation Space で使えるスライド

- PDF
- Web (実験的機能)

Markdown で書きたい

Markdown → PDF の変換に、以前は



を使っていた。

→ 2020年12月に終了。

Markdown PDF

今はこれを使ってます。



- VSCode の拡張機能。
- html タグで改ページしてスライドに。

```
サンプル
22
23
    <img src="img/read_the_docs_example.png" width="80%" />
24
25
    <div style="page-break-before:always"></div><!----->
26
27
    # 動作確認した環境
28
29
   - Windows 10 Home 2004
30
   - Python 3.8.1
31
   - Sphinx 3.5.2
32
    - sphinx-rtd-theme 0.5.1
33
    - sphinx-multiversion 0.2.4
34
35
36
    <div style="page-break-before:always"></div><!----->
37
    # 構成
38
39
     ドキュメントは (中間生成物も) すべて "docs" フォルダに入るようにします。
40
41
    ...
42
    my_pkg/
43
44
   - - venv/
45
   - - docs/
46
47
   - | · · · | — build/
     · | · · · | · · · └— (生成した HTML)
48
49
     · | · · · └── source/
     - | · · · · · · └─ (reST、設定やテンプレート)
50
51
     . L— src/
52
     .... - my_pkg/
53
```

アバター

アプリにプリセットのアバターや、 Web で手に入るアバターもあります。



結局、自分で作ることに。

アバターを VRM で作る

VRM は、アバターの共通フォーマット。 2018年にドワンゴが発表。

Virtual Presentation Space も VRM に対応。



でモデル (FBX) を作る。

※無料の高機能モデリングツール





※無料のパーソナル版



Zoom でトークするには

アプリのウィンドウを共有するだけ。

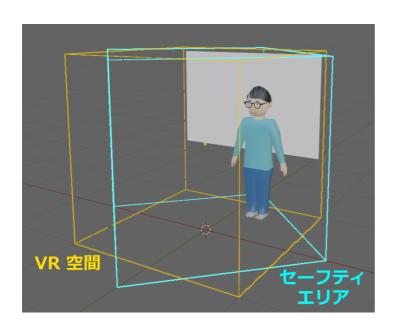
録画用の映像がミラーリングされる。

オーディオ設定

- VR ゴーグルのマイク
- VR ゴーグルのヘッドホン

トラブル (1)

VR 空間が斜めになって、焦った



トラブル (2)

デスクトップが見れなくて、焦った





システム構成が複雑

- Oculus Quest2 (Android)
 - Oculus Link
- Oculus for PC (Windows)
 - Steam VR
 - Vive アプリ

誰のせいでボタンが効かなくなったのか...。

思ったより孤独を感じた



(不安になった理由)

おすすめしませんが、質問は歓迎します。

こことかで。



ご清聴ありがとうございました。